

2学期が始まって2週間近くになりますが、いつもの生活に戻れていますか。去年にも増して今年の夏も猛暑続きでしたが、体調は整っていますか。まだまだ夏休み気分が抜けない人もいるかもしれませんが、2学期は山陵祭文化の部、体育の部、そして2年生は研修旅行と・・・行事も盛りだくさんです。楽しく充実して過ごしましょう。

1年生には夏期課題として、読書感想文が課されていました。夏休み、それぞれの読書の旅を楽しめましたか。どんな本を選び、どんな人に出会い、どんな自分と出会えましたか。どんな風に心が動きましたか。

喜び、怒り、哀しみ、楽しみ、いろいろな気持ちと出会えたかな。そこで感じた思いを、自分の言葉で表してみてください。優秀作品は、コンクールに出品予定です。また、学校長表彰の対象にもなりますよ。

冬には「読書感想画コンクール」もあります。絵が得意な人は、こちらもぜひ挑戦してみてくださいね。

新着図書

第1期分の新しい本が図書館に入っています。合計141冊。各クラスに一覧表が掲示されています。ぜひ図書館に足を運んでください。図書館入り口前のボードには、司書の北浦さんによる、新書紹介カードを掲示しています。興味を惹く本があれば、ぜひ手に取って読んでみてくださいね。

ただいま、第2期分の購入図書の希望を受付中です。図書館にリクエストボックスがあるので、リクエストしてくださいね。

図書委員 今月のオススメ

2年G組



「十五少年漂流記」

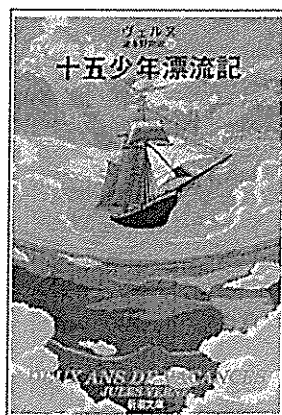
作者：ヴェルヌ・出版社：新潮文庫

～おさじ～

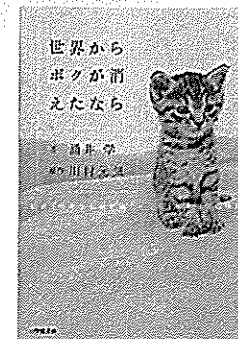
14歳のゴードンと頭に15人の少年たちだけと乗せたスクナー船が、ふとたところから荒海に出てしまった。大嵐にもまれたら、身はとある島に着いた。この島で生き残るためにさまざまな工夫を重ね、持前の知恵と勇気と好奇心を使って、冒険に満ちた生活を始める……。

～おすめの理由～

15人の少年たちがそれぞれ自分のできることを率先して取り組み、サバイバル生活としながら新たな知識や経験を積んでいきます。そして友情や団結力がよみがえり、困難に向かい、いくつものおもしろい冒険小説とまた読んだことのない人でも読んだことのある人にもオススメの本です。



1年D組

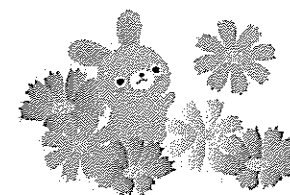


世界からボクが消えたなら

原作：川村 元気 著：涌井 学

出版社：小学館 ジュニア文庫

猫の「おバツ」とおバツの飼主さんのお話です。
ある日 医者から、飼主さんの脳に悪性の脳腫瘍があり、もうすぐ死ぬ。と言われた。その日、悪魔がやってきて、「この世界からモノを一つ消させてくれたら命を一日分だけ延ばしてあげる。」と言われ、命のために大切なモノを消していく話です。
この本は映画化もされており、オススメですよ。



1年G組



題名「化物語」 著者：西尾維新 出版社：講談社

主人公阿良木暦は学校に怪異が頻りに起こる。他にも主人公はその優しさからさまざまな事件に首を突っ込んでしまう。個性豊かなキャラクター達が話すおもしろおかしい話が連続していきなり。その会話の中にもさりげなく伏線が散り、事件の真相を自分自身で考えてみるのも楽しい本なので普通の推理本にあきたらぜひ手に取って読んでみてはどうでしょう。

7月の図書館利用状況

1年生	2年生	3年生	合計
38人	26人	105人	169人

8月の図書館利用状況

1年生	2年生	3年生	合計
23人	10人	95人	128人

夏休み中は利用者が少なかったようですが、受験生の3年生は受験勉強で利用している生徒が目立っていました。2階の自習机で、静かに落ち着いて勉強していたようです。ようやくこれから秋の気配を感じるようになり、過ごしやすくなってきますね。「読書の秋」ですね！

